

「いじめ防止対策改善プログラム」に基づくいじめ防止対策取組状況自己点検シート
特に重点的に取り組んでいる内容（学校の実情に合わせた特色ある取組）

平成30年度1学期分

＜未然防止への取組について＞

1 「互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくり」に関すること

- ・ 児童会、生徒会による「あいさつ運動」の実施
- ・ 各学級で作成した「あいさつ標語」の全校生への紹介
- ・ 児童会、生徒会によるインターネットの使用に関するルールづくり
- ・ いじめ防止に関する掲示物を全教室に掲示
- ・ すべての子どもが参加・活躍できる、わかる授業づくりの推進
- ・ 「いじめ防止啓発月間」（9月）における、児童会、生徒会主催による取組
- ・ 縦割り班活動
- ・ 「みんな遊び」の週1回実践による、全校生が仲良く楽しむ場の設定
- ・ 学校長による詩の音読や講話
- ・ 全校生から「学校をこんな言葉でいっぱいになりたいな」というテーマで「言葉」を募集
- ・ 「心の花咲くノート」（友だちの思いやりある行動を見つけ、記入する）の活用
- ・ 児童会による「いじめゼロ宣言」
- ・ ぽかぽかハート週間（全校活動いいところ探し）の実施
- ・ わいわい交流遠足（全校遠足・異学年交流活動）の実施

2 「命や人権を尊重する豊かな心の育成」に関すること

- ・ 毎月1度の「道徳デー」による、心シリーズを活用した保護者と子どもが話し合う場の設定
- ・ 教材の精選
- ・ 加古川養護学校との交流
- ・ 人権参観日・人権講演会の効果的な実施時期を検討
- ・ L G B T理解の推進
- ・ 助産師さんによる講演

3 「家庭や地域への働きかけ」に関すること

- ・ 4月の学級懇談会を参観授業後に実施
- ・ 保護者も参加したインターネットトラブル防止講座の開催
- ・ S S Wによる講義

<早期発見・早期対応への取組について>

- 4 「学校環境適応感尺度（アセス）の適切な活用」に関すること
 - ・ 担任によるアセス結果の分析及び情報の共有
- 5 「児童生徒の相談行動の促進」に関すること
 - ・ 子どもが本音を打ち明けやすくするためのアンケートや面談の検討
 - ・ 月に1回の、学校独自の学校生活アンケートを実施
 - ・ 担任以外による教育相談実施を検討
- 6 「双方向からの実態把握と情報共有」に関すること
 - ・ 同学年の子どもを持つ保護者同士が悩みを共有する機会の設定
 - ・ 教育相談コーディネーターを中心にした保護者との連携
 - ・ 「小学校区育成連絡協議会」による双方向的な情報共有
- 7 「研修の充実による教職員の資質と指導力の向上」に関すること
 - ・ 各校における特別支援教育の充実に向けた加古川養護学校との連携
- 8 「『チーム学校』による組織的な対応」に関すること
 - ・ 個々の子どもを見守ることができるシステムの構築
 - ・ 小規模校のメリットを生かした個々の子どもへの全教師によるサポート
 - ・ 授業を終了した教師が、休み時間もそのまま教室または廊下に残り生徒の様子を観察
 - ・ 月ごとの生活相談票（いじめ悩み相談票）実施による情報交換及び学年を越えた対応

<関係機関との連携を強化した取組について>

- 9 「関係機関との連携を強化した取組」に関すること
 - ・ 家庭支援課、障がい者支援課等、市の関連部署との連携
 - ・ 中学校区連携ユニットや民間施設との連携

<推進体制・検証体制を整える取組について>

- 10 「推進体制・検証体制を整える取組」に関すること
 - ・ 学期毎のいじめ対策の検証による危機管理意識の向上